

騒	あ	ど	の	し	に	ど		こ	い	（	い	理	い	仏	着	着		よ	が
音	の	う	か	て	な	こ	こ	こ	る	そ	る	解	る	蘭	て	替		う	が
を	あ	や	か	い	く	だ	こ	こ	ん	う	い	し	。	は	た	え		な	、
徐	の	っ	も	広	、	ら	こ	こ	だ	た	え	よ	。	腕	し	。	半	今	
々	あ	て	も	い	心	う	こ	こ	だ	ら	。	う	。	を	っ	。	袖	は	
に	の	あ	う	部	身	思	こ	こ	ら	森	。	と	。	組	。	短	夏		
鎮	部	の	い	屋	と	出	を	こ	の	中	。	。	み	。	パ	祭			
め、	屋	部	っ	と	そ	す	を	に	に	に	。	。	不	。	ン	り			
よ	と	屋	て	。	れ	こ	を	。	。	。	。	。	思	。	の	出			
う	そ	に	あ	。	果	と	考	。	。	。	。	。	議	。	浴	し			
やく	。	。	の	。	て	を	え	。	。	。	。	。	そ	。	衣	て			
生	中	。	か	。	脳	考	。	。	。	。	。	。	う	。	姿	も			
き	の	。	も	。	は	え	。	。	。	。	。	。	。	。	に	お			
物	中	。	。	。	う	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	か			
と	の	。	。	。	ま	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	し			
して	の	。	。	。	く	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	く			
の	。	。	。	。	機	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	な			
					能											い			
																。			

襖	死	考	に		て	ら	な	れ		と	れ	め	中	る	所		身	そ	機
で	を	え	た	（	い	れ	か	て	な	も	、	る	の	。	な	に	纏	の	能
仕	求	る	い	も	た	ら	の	き	ぜ	で	発	時	一	な	の	つ	時	が	
切	め	こ	死	う	に	質	か	た	自	き	作	が	度	の	に	て	に	は	
ら	た	と	に	嫌	た	問	。か	の	分	な	は	来	落	か	は	い	は	も	
れ	。そ	が	た	だ	い	に	。	。	は	。	再	着	の	の	、	。	う	う	
た	ん	苦	い	。	。	、	。	。	生	。	発	い	簡	。	こ	。	。	。	
隣	な	痛	。	。	。	精	。	。	き	。	し	単	。	こ	。	。	。	。	
の	日	で	。	。	。	神	。	。	て	。	て	な	。	こ	。	。	。	。	
部	が	、	。	。	。	は	。	。	い	。	自	。	。	。	。	。	。	。	
屋	何	そ	。	。	。	と	。	。	る	。	分	。	。	。	。	。	。	。	
に	日	れ	。	。	。	う	。	。	の	。	で	。	。	。	。	。	。	。	
番	も	逃	。	。	。	の	。	。	か	。	は	。	。	。	。	。	。	。	
才	続	れ	。	。	。	昔	。	。	。	。	も	。	。	。	。	。	。	。	
が	い	る	。	。	。	に	。	。	。	。	う	。	。	。	。	。	。	。	
入	た	た	。	。	。	限	。	。	。	。	ど	。	。	。	。	。	。	。	
っ	あ	い	。	。	。	界	。	。	。	。	う	。	。	。	。	。	。	。	
て	る	死	。	。	。	を	。	。	。	。	す	。	。	。	。	。	。	。	
き	日	に	。	。	。	超	。	。	。	。	る	。	。	。	。	。	。	。	
た		死	。	。	。	え	。	。	。	。	こ	。	。	。	。	。	。	。	

る	持	屋		に	話	紅	っ	気	な	い	で	簡	を	で		顔	紅	伝	て
こ	っ	に	「	力	し	蘭	て	づ	る	描	単	く	、	、	「	つ	蘭	え	よ
と	て	連	そ	を	方	が	れ	い	の	く	で	ぐ	、	、	こ	き	は	る	。
が	説	れ	れ	込	か	自	て	た	か	だ	、	っ	、	、	こ	に	は	ら	。
あ	明	て	で	め	ら	分	。	ら	わ	け	、	た	、	、	こ	は	自	。	
る	し	行	ね	。	そ	で		そ	わ	。	の	手	、	、	こ	分	の		
わ	な	く	。		の	理		頭	っ	。	中	前	置	、	こ	札	を		
。	く	機	女		の	解		中	て		。	に	い	、	こ	を			
	ち	会	将		。	で		で	い			置	い	、	こ	を			
	ゃ	が	さ		。	き		想	な			て	て	、	こ	を			
	い	あ	ん		。	も		像	い			あ	。	、	こ	を			
	け	れ	か		。	言		し	い			。	。	、	こ	を			
	な	、	を		。	っ		て	な					、	こ	を			
	い	そ	こ		。	た		た	い					、	こ	を			
	っ	の	の		。	け		格	な					、	こ	を			
	て	人	部		。	ど		好	こ					、	こ	を			
	言	が			。	。		に	と					、	こ	を			
	わ	責			。	。		。	。					、	こ	を			
	れ	任			。	。		。	。					、	こ	を			
	て				。	。		。	。					、	こ	を			

て、	今	「	仏	く		向	横	念	う	「	目	り	紅	て	の	て	っ	一
そ	そ	そ	蘭	る		け	に	を	こ	」	と	、	蘭	も	中	い	た	瞬
し	の	れ	が	じ		た	寄	押	と	鏡	目	こ	も	一	に	い	°	に
て	浴	て	楽	ゃ		°	せ	す	を	が	の	ち	そ	つ	は	い	し	て
出	衣	出	し	な			、	よ	忘	映	さ	ら	う	は	は	い	°	、
て	に	て	そ	い			紅	う	れ	し	れ	ら	さ	さ	、	い		そ
こ	着	こ	う	い			蘭	に	な	出	だ	に	ら	ら	二	い		の
れ	替	れ	な	い			は	に	い	す	一	奥	一	つ	つ	い		場
る	え	る	声	い			再	立	こ	も	人	見	度	入	入	い		を
っ	た	っ	を	い			度	た	と	の	差	定	言	る	こ	い		目
て	時	て	出	い			四	せ	」	全	し	め	葉	と	こ	い		に
事	と	事	す	い			人	て	」	て	指	る	を	°	の	い		見
実	°	実	°	い			あ	あ	」	が	を	よ	顔	そ	中	い		え
が	二	が		い			の	の	」	真	う	う	の	し	で	い		る
あ	回	あ		い			そ	あ	」	実	か	か	切	し	、	い		緊
る	こ	る		い			れ	の	」	で	、	、	を	そ	覗	い		張
か	こ	か		い			ぞ	あ	」	は	、	し	切	し	い	い		感
ら	に	ら		い			れ	の	」	い	、	し	切	し	い	い		が
	入			い			視	顔	」	い	、	し	切	し	い	い		覆
	っ			い			線	の	」	い	、	し	切	し	い	い		

「えええっ！嫌です！嫌です・・けど。」	の？」	て証拠だわ。怖けりゃあんただけここに残る	くつか掛かってるでしょ！何人も中にいるっ	「ほら見てみなさいよ。紅蘭の札以外にもい	自信なさげな回答が雫の不安を煽る。	しも一人でしか入ったことないし・。」	「他の鏡を覗かなければいいと思う。わた	下ろし、それから紅蘭へと視線を向ける。	抱き抱えられた両腕をペしペし叩く仏蘭を見	思えばいいのよ。さあ。」	じゃない。ちよっとしたアトラクションだと	れに紅蘭がこうして平気な顔して出てきてる	「大丈夫よ。わたしたちも一緒に入るし、そ	「えー。でも・・。」	整えちゃいなさいよ。」	うどいいから、あなたのその鬱陶しい前髪を	「なに驚いてんのよ当たり前じゃない。ちよ	「えええええっ！は・・入るんですか？」	なんてことないわ。さあ、行くわよ雫。」
---------------------	-----	----------------------	----------------------	----------------------	-------------------	--------------------	---------------------	---------------------	----------------------	--------------	----------------------	----------------------	----------------------	------------	-------------	----------------------	----------------------	---------------------	---------------------

